

熱中症対策について

R4年9月 健康教育部

9月14日に名古屋市で、体育大会の練習をしていた3つの中学校の生徒合わせて19名が、体調不良を訴えて救急搬送されるニュースがありました。その時の暑さ指数が「厳重警戒」だったとのことです。

そこで、本校においても、今まで暑さ指数が「危険」の場合は、昼休みに運動場で遊ぶことを禁止していましたが、今後は「厳重警戒」の場合でも、禁止としたいと思います。また、体育の学習においても、いくつか共通理解を図りたいと思います。

	厳重警戒	危険
外遊び 10分休み・15分休み	可	中止
外遊び 昼休み	中止	中止
体育 運動場	中止（走に関する運動） ※子どもの体力に配慮し、管理職と相談する。	中止
体育 講堂	可 ※子どもの体力に配慮し、管理職と相談する。	中止

※当日の朝に3時間おきの熱中症危険度予報を職員室のホワイトボードに提示します。途中で、警戒⇒厳重警戒や厳重警戒⇒危険に上がったときは放送を入れます。

【厳重警戒時の注意事項】

- ・体育の授業前には塩分タブレットを食べさせる。
- ・運動や外遊びをするときはマスクを外させる。
- ・団体演技に関してはできる限り、冷房が効く部屋で指導を行うようにする。